

全文検索ゲートウェイ(PanaSearch版) バージョンアップ内容 (Ver1.00R01→Ver1.00R02)

2006年10月24日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

- ・全文検索ゲートウェイ(PanaSearch版)が Ver 1.00R02 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

バージョンアップ内容

■全文検索オプション(Windows版)

- 全文検索ゲートウェイユーティリティ(Windows版)として、以下のツールを追加しました。
 - エラーファイル形式チェックツール(checkData.exe)
 - エラーファイル形式修復ツール(checkData3.exe)
 - エラーファイル修復ツール(repairdata.exe)
 - 不要データ削除ツール(deletedb.exe)
- マージ処理間隔が時間指定できるように、機能追加しました。

仕様変更

■全文検索オプション(Windows版)

- 全文検索ゲートウェイ起動時、システムログサイズの設定を考慮して、検索データベース更新ログ(pskb_com.log)をローテートするようになりました。
- 全文検索ゲートウェイの一部のログ出力にOSから返ってきたエラーコードを出力するようになりました。

不具合修正

■全文検索オプション(Windows版)

- 全文検索ゲートウェイ起動後、psgw_add.exeのハンドル数が増加し続け、長時間運用しているとOSがハングアップする場合があります。
→psgw_add.exeのハンドル数を増加し続けないように修正しました。
- 作業用ディレクトリ配下に作成されたフォルダーおよびファイルが一定期間を過ぎても削除されず、ディスクを圧迫する場合があります。

→作業ディレクトリ配下の不要なフォルダーおよびファイルは削除するように修正しました。

- 全文検索ゲートウェイを再起動すると、作業用ディレクトリ配下の削除レコードが無効になり、全文検索データベースや作業用ディレクトリ配下にファイルが残ってディスクを圧迫する現象が発生していました。

→全文検索ゲートウェイを再起動後も作業用ディレクトリ配下の削除レコードが処理されるように修正しました。

- 全文検索ゲートウェイのログ出力で、正しい処理にもかかわらずエラーレベルERROR、FATALで出力されていた不具合を修正しました。